

# ヘーメンキカの魔獣

## 直線AC（後半）

池田     あまり長く書きすぎるでないぞ。

武長     なぜだ？

池田     あんまり横に余裕がないキャンバスだからな、書き直すことになってはことだ。

武長     見たか人間どもよ！これが魔族だ！先を見据えて問題を予測し、回避する！これがお前らにはできんのだ。

池田     定規を持っていよう。

武長     私が線を引こう。

線を引く。

二人笑う。

武長     美しい線分ではないか！

池田     これがA.....Cだ！

二人、笑いつつ黒板から離れる。

池田### 垂直二等分線L

では次だ.....！『線分ACの垂直二等分線Lを作図せよ。』

武長     ほう！垂直二等分線とは.....なんだ？

池田     ほほう、知らないのか？

武長     ああ、知らないのだ！

池田     おいお前らどうして笑うのだ？知らないことを知らないと素直にいえるのは素晴らしいことではないか？

武長     フォローをありがとう.....！

池田     よいのだ！

武長     して垂直二等分線とはなんだ？

池田     いいか？垂直二等分線とはな、線分ACに垂直であり.....そして！線分ACを真ん中で二等分する直線のことなのだ！

武長     なんだそのままではないか。

池田     そうだそのままなのだ！

武長     真ん中だからここだな！

武長、いきなり定規で書こうとする

**池田** 待て待て待て！

武長、止まる。

**池田** 待つのだあ！

**武長** どうした魔族伯爵！

**池田** 焦るでないぞ、魔族戦士！

**武長** 大丈夫だ今度は定規を忘れていないぞ！

**池田** 違うのだ！いや書こうとするな！

静止して

**池田** よいか？垂直二等分線を書くときは儀式は手順が重要なのだ！

**武長** そういうものなのか？

**池田** そうだ！ここではこの……コンパスを使うのだ！

**武長** コンパスだと？！確かそれは真円を描くための召喚具だったはずだ！

**池田** そのコンパスがここでは役に立つのだ！

池田、武長にコンパスを渡す

**池田** まずはコンパスの針の部分を……天使どもを倒すときのようにAに刺すのだ！

武長、笑いながらコンパスをAに刺す。

**池田** そして……コンパスを適度に関き……半円を描くのだ！

池田、観客に向かい

**池田** 貴様ら見ておけ……魔族が！今から！半円を！描くぞ！

**武長** 適度というのはこれくらいか？

**池田** ああ、それは足りないぞ、もう少しだ、それくらいだ。

武長、半円を描く

**池田** 美しいではないか！

**武長** 見たかこれが魔族の器用さだ！

武長、笑いながらコンパスを閉じる

**池田** 閉じるな！

**武長** なぜだ！

**池田** なぜ閉じたのだ！

**武長** 原状復帰は作業の基本だ！

**池田** 垂直二等分線を描くときはそれをそのままこっちに持ってきて使うのだ！

**武長** そうなのか！まだ終わりじゃなかったのか！

**池田** さあもう一度Aに指して長さを取るのだ！

**武長** これが魔族の二度手間だ！

**池田** そういうのは言わなくてよい！そしてその開き具合をキープしたまま！Cに刺すのだ！

武長、Cにコンパスを刺す。

**池田** そしてまた半円を描くのだ！

武長、半円を描く

**池田** そして！この交点二つを直線で結ぶのだ！

武長、一瞬フリーハンドで行きそうになり、池田、あわてて

**二人** 定規でだ！

**武長** いやわかっていたぞ！

**池田** 一瞬忘れてただろう！

などなど言いつつ、池田、定規を構える。

垂直二等分線を引く。

ズレていたら修正も行う。

引き終わったら二人とも離れる。

**武長** 見てみろ人間どもこの美しい線を！完全に垂直に二等分しているぞ！

**池田** そしてこの素晴らしい線の名前がLだ！

武長（可能？）、Lと書く。

**池田** そしてこの交点が...Mだ！

池田、Mと書く。武長、その間に観客に

**武長** これはなんのMだかわかるか？それは.....そう魔族のMだ！

**池田###** 大きい円と点P

さあ次だ！『中心M、半径ACの円とLとの交点をPとする』

**武長** .....何をすればいいんだ？

**池田** まずは中心がMの円だ。

**武長** コンパスってことだな！？

**池田** そうだ！そして半径がACだ！

武長、半径ACを取り、池田に見せる。

**武長** これでよいな！？

**池田** 持ってこなくていい！持ってくるときにズレるだろう！  
**武長** 一応あってるか確認してほしかったのだ！  
**池田** いやこれを見せられてもあってるかどうかわかるわけなからう！  
**武長** それもそうか！  
**池田** こっちで合わせてくれ

武長、もう一度ACにコンパスを合わせて

**武長** あ、ずれてた。  
**池田** だろう？！

武長がふたたびACを取り終えたら

**池田** そして針をMに刺し、円を描くのだ！

武長、円を描き始める。

**池田** （なにかしら観客にコメント）

武長、定規が邪魔になり

**武長** おい助けてくれ魔族伯爵！定規が邪魔だ！！  
**池田** では.....どかしてやろう！  
**武長** ありがとう！

武長、再び円を書き始める。  
後半に差し掛かる手前

**武長** 魔族伯爵！なんかずれている気がしてきた！  
**池田** 大丈夫だ魔族戦士！  
**武長** 最後なんか上で合わないような気がしてきた！  
**池田** なぜ心配になる！大丈夫だ！そのまま書き続けろ！絶対に合う！合う...はずだ！

などなど言いつつ、円を書き終え、二人盛り上がる

**池田** そしてこの円と.....Lとの交点がPだ！（このあたり観客に寄ったほうがいい）  
**武長** 魔族伯爵！どうしよう交点がないぞ！  
**池田** なに.....？

二人、黒板を見て

**池田** ほんとだな。  
**武長** 交点がないときはどうしたらいいとか書いてないのか？

池田、魔導書を確認して

**池田** 書いてないな.....

**武長** どうすればいい？書き直しか！？

**池田** まあ.....延ばせばよいだろう！

**武長** 延ばす！？

**池田** そうだ！ここをこう、ひょいと伸ばせば交点になるだろう！

**武長** そんなことをしてもよいのか？！

**池田** よいのだ！

**武長** 書き直したりしなくてもいいんだな？

**池田** よく考えろ魔族戦士！ここから書き直しでもしてみろ！だいぶ.....ダレるではないか！

**武長** それは確かにそうだ！

**池田** こういったハプニングにも臨機応変に対応していくことが魔族には求められるのだ！

**武長** なるほどなあ！

**池田** では定規を構えてくれ！

武長、定規を構える

池田、継ぎ足しを行う。

池田、黒板から離れ

**池田** うまかろう〜〜〜！！

**武長** 見てみろ！継ぎ目がどこだか貴様ら人間にはわからんだろう！俺にもわからん！

**池田** そしてエ！ここがPだ！

二人、盛り上がる。

**池田###** 直線APと点Q

さあ次だ！『直線APを書け』！

**武長** それだけか！？

**池田** そうだ！

**武長** 簡単ではないか！！なんでここに来てこんな簡単なんだ！

**池田** 急に簡単になったな！

武長、定規を構える

池田、線を引く

**池田** いよし！

**武長** さあどんどんいこう！

**池田** 『中心P、半径AMの円Oを作図せよ』

**武長** 円を書くだけだな！？

**池田** そうだ！  
**武長** また簡単ではないか！！  
**池田** さあ早速行こうではないか！まず半径AMを取るのだ！  
**武長** もう取ったぞ！  
**池田** そして！中心Pに刺すのだ！

武長、勢いよく刺しに行くも高さがギリギリになる。

**武長** 刺したぞ……！  
**池田** そ、それは大丈夫か？！  
**武長** けっこうつらい！もう描くぞ！

武長、円を描き始める  
途中で止まる

**武長** これ描けてるか？！  
**池田** 描けてるぞ！  
**武長** 自分からは見えなくて不安なのだ！  
**池田** 大丈夫だ！自分を信じるのだ！

武長、円の下側に差し掛かりなぜか池田のほうに顔が向く

**武長** なんだ！これはどうしたらいいんだ！  
**池田** なぜこっちを見ている！なぜ私と目が合うのだ！  
**武長** 腕が邪魔だ！コンパスの軌道上に俺の腕があって邪魔だ！  
**池田** 腕を入れ替えろ！腕を入れ替えろ！！

などなどありつつ、切り抜ける  
後半に差し掛かり

**武長** これちゃんと最後合うか？大丈夫か！？  
**池田** あ〜〜〜！！いけるか……！？いけるか……！？

線が合流する。  
皆、盛り上がる。